

泉南走ろう会

連絡先 泉南スポーツ社
0724・83・4653

阪南都市駅伝競走大会に参加して

会長 透建三

我が泉南走ろう会は二月の駅伝、三月のフルマラソン、八月の高原マラソン大会参加は恒例行事となり、毎月例会日以外の会の行事としては、走着したように思いますが、駅伝については、今年も参加できるかどうか、毎年くじ配りです。が、これも例年の走ろう会忘年会の席上協議事項として、議題となり、「よし、今年も走ろう、参加しよう」と心強い委員の声があり、この時は、忘年会とはいえ、まだ酒に酔ってなく、本気で討議されたのであり、うれしくもあり、頑く思えたのであります。さあ、それからの大奮闘。選手への配置には事務的側面が痛い。予定されていた選手が、何かと用事、又急病となり選手への確保には、駅伝参加と決てからは、一生懸命御欠の選手に補充があるぐらゐ、むずかしい。未だ駆け起され、それがなんとニチーム参加となる。

さて、阪南駅伝なるもの、今年で才三十八回とありますが、それでは三十八年前に発足したのでしよう。それは何の目的か、その当時で

たならば、分ていうランニング大会ではなく、都市チームの競走の親睦かとするのです。参加メンバーは中学校の部、高校の部、青年団の部、職域の部とあり豪華というのか、バラエティーにとみまわっている。大したものである。それ等のチームが同じ浪守公園周回コースにて、それぞれ競走するのみ、立派だと思つた。我々が参加した職域の部であつては、株式会社上場企業から町工場まで、そして官公署異色なのは、自衛隊まで。そして、大公は、健康マラソン、ジョギングをなく、競走である。会場の浪守に着くと、各選手、ウーミングス、アパを付けているが、これがもうまさに競走のトレーニングである。私は驚いた。お金の道をジョギングしてゐる姿ではない。我が走ろう会、Aチーム選手、Bチーム選手よく頑張りました。御苦労さん、敬意を表します。なかでもBチーム選手驚いたでしょう。各職域のチームは花の一匠かウエアンカーまでベスト選手を配置し、現役陸上部から陸上競技のOBまで、その中で走る。競走としてのランニングであれば苦しいからといって、途中でやめたり、気を抜くことも出来ず自分の限界以上に走らねばならぬ。これが駅伝競走であり、本場に御苦労さんでした。走り終つて後の感激、苦勞をした体は困難を乗り越えていく心の支えとなる。

次回も頑張ってください。

お知らせ

一 浪山マラソンについて次期通り参加したいと思ひます。よろしく。

参加要項

一日時三月六日

和泉砂川駅五時十七分 乗車

新泉駅五時三十分 乗車

大阪駅七時の五分 乗車

篠山口駅八時半五分 到着

一 服装マフター

雨又雪に對する準備、帽子、ヤケ、手袋等を忘れぬようにして下さい。

一 食事について

朝食は大阪発電車の中で食事をします。駅弁は朝が早いのでないと思ひます。各自、家から持参するのが無難です。

一 レースについて

(イ) 日頃のトレーニングがものをいふ。ですから、余り無理をしないように。
(ロ) 所詮遊び。気分が悪くなれば早めに収容車に乗て下さい。勤か一日のために一生を棒にふるようなことは、な、い、よう、に、心、掛、け、ま、し、よ、う。

(二) 例日

二月二日午前九時 新泉公民館
コース 新泉一上之郷ーゴルフ場ー大鳴山 約三十キロ



こゝ様に前もてコースを決めるともつかない、あんなフルトラコースは入席しようと思つた方がおられますが、ゆくり走りましよう。ジョギング